

6 基金

(1) 一般会計の基金

一般会計の基金残高は、表 26、図 42 のとおり平成 23 年度末の約 120 億円から約 10 億円減少して、平成 24 年度末で約 110 億円となる見込みです。市民 1 人あたりの残高にすると、235,117 円となります。(人口は、H24.1.1 現在人口 46,662 人)

一般会計基金残高は、平成 15 年度に合併関連事業が増えましたので大きく減少しましたが、平成 16 年度に合併特例事業による地域振興基金を設置し、平成 16 年度から 2 カ年度で限度額の 26 億円を積み立てたことにより増加しました。

財政調整基金は、平成 23 年度末までに前年度繰越金などにより約 13 億円の増を見込んでいます。平成 24 年度は、財源不足に充てるため約 10 億円を取り崩し基金残高が減少する見込みです。

市債管理基金は、将来の借金の返済にあてる財源として、平成 23 年度末までに約 9 億円を積立てたため増加しました。

災害対策基金は大規模災害に対する備えとして、平成 23 年度に 1 億円を積立てました。

なお、財政調整基金の推移は図 43 をご覧ください。

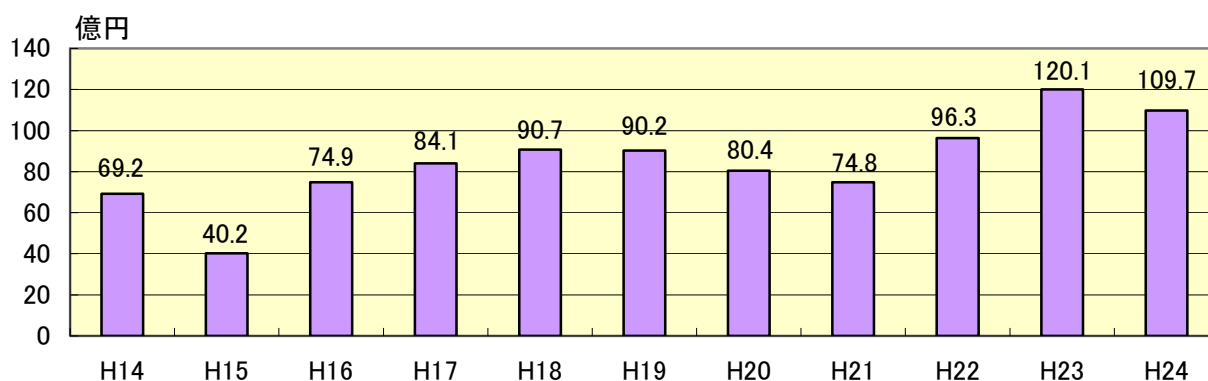
表 26 一般会計基金の状況

(単位：千円)

基金名	平成 24 年度末 残高見込	基金名	平成 24 年度末 残高見込
財政調整基金	4,774,210	物づくり・発 明支援基金	21,021
市債管理基金	2,406,453	あじさいクリー ンセンター管理基金	101,455
国民健康保険高額 医療費貸付基金	15,000	地域振興基金	2,654,058
地域福祉基金	839,695	市営住宅整備基金	13,643
育英基金	11,508	災害対策基金	100,000
アジアまなびや 基金	34,004	合 計	10,971,047

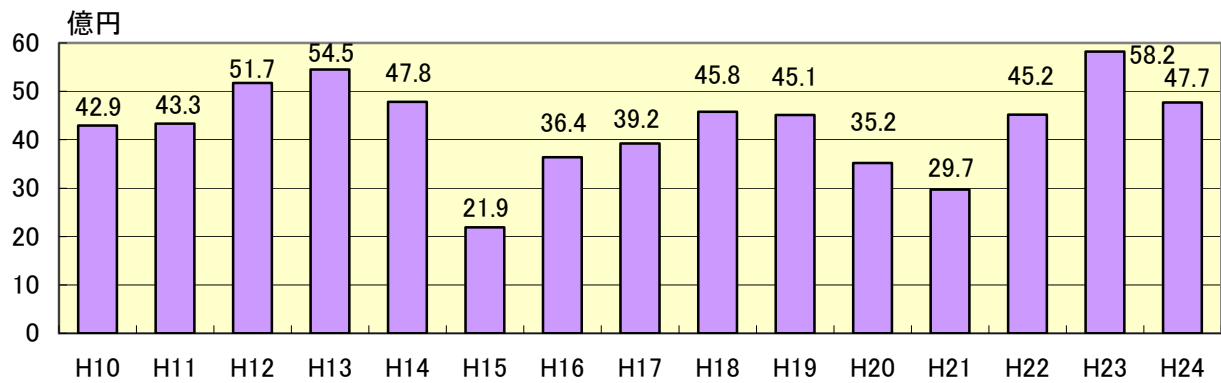
注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図 42 一般会計基金の推移



注) 平成 22 年度までは実績、平成 23・24 年度は決算見込みです。

図43 財政調整基金の推移



注)平成22年度までは実績、平成23・24年度は決算見込みです。

財政調整基金・・・ 災害や急激な景気後退などの不測の支出や減収に備えるとともに、年度間における財源の不均衡を調整するための基金です。

(2) 特別会計の基金

特別会計の基金残高は、表 27、図 44 のとおり平成 23 年度末の約 4 億 7 千万円から約 6 千万円減少して、平成 24 年度末で約 4 億 1 千万円となります。市民 1 人当たりの残高にすると、8,758 円となります。(人口は、H24.1.1 現在人口 46,662 人)

農業公園整備基金は、農業公園維持管理のため約 6 千万円の減を見込みました。国民健康保険給付等支払基金、介護給付費準備基金、介護従事者処遇改善臨時特例基金、下水道事業基金は、大きな変動はありません。

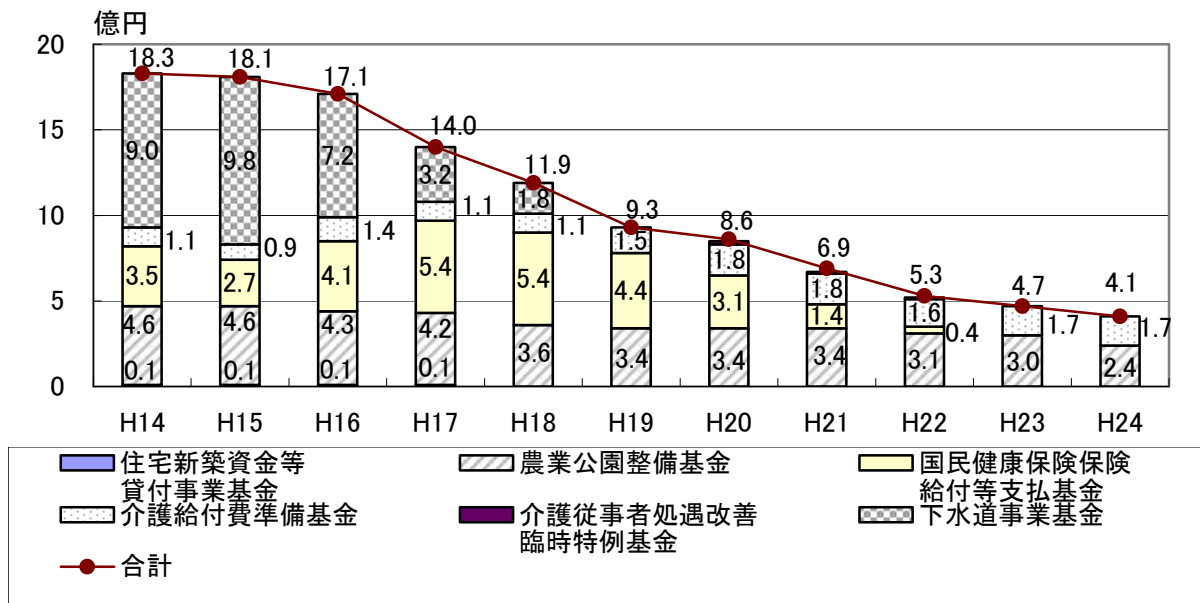
表 27 特別会計基金の状況

(単位：千円)

基金名	平成 24 年度末 残高見込	基金名	平成 24 年度末 残高見込
農業公園整備基金	242,066	介護従事者処遇 改善臨時特例基金	327
国民健康保険給付 等支払基金	467	下水道事業基金	253
介護給付費 準備基金	165,537	合 計	408,650

注) 表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

図 44 特別会計基金の推移

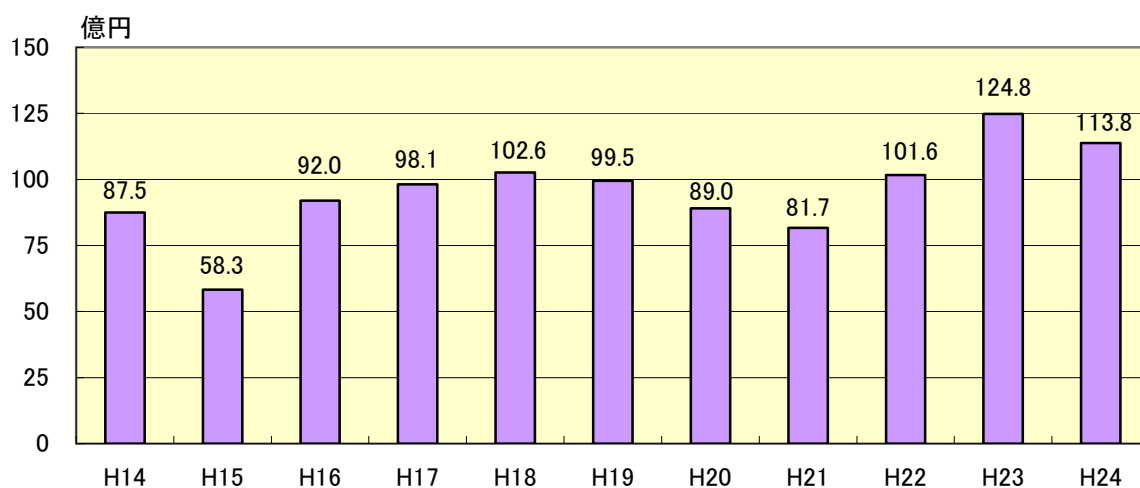


注) 平成 22 年度までは実績、平成 23・24 年度は決算見込みです。

(3) 全会計の基金

全会計の基金残高は、図45のとおり平成23年度末の約125億円から11億円減少して、平成24年度末で約114億円となる見込みです。市民1人当たりの残高にすると、243,875円となります。(人口は、H24.1.1現在人口46,662人)

図45 全会計基金の推移



注)平成22年度までは実績、平成23・24年度は決算見込みです。